

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	703	689	百日咳	0	2
RSウイルス感染症	8	8	ヘルパンギーナ	5	10
咽頭結膜熱	12	19	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	90	116
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	60	53	急性出血性結膜炎	0	1
感染性胃腸炎	662	662	流行性角結膜炎(はやり目)	9	16
水痘	126	126	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	1	2	無菌性髄膜炎	1	1
伝染性紅斑(りんご病)	23	27	マイコプラズマ肺炎	2	1
突発性発しん	28	36	クラミジア肺炎	0	2

インフルエンザ
報告が多い
感染症

感染性胃腸炎

水痘

- インフルエンザは、報告数 703 件(前週報告数 689 件)と増加。地区別では、人吉、菊池、八代に多く報告がみられる。年齢別では、10～14歳の130件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 662 件(前週報告数 662 件)と前週と同数だった。地区別では、菊池、山鹿、天草に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の157件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 126 件(前週報告数 126 件)と前週と同数だった。地区別では、菊池、八代、人吉に報告が多くみられる。年齢別では、2歳の32件を最多に、10～14歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	206	3	6	29	208	52	1	7	12			34		9		1	2	
山鹿保健所	7				47	1		2	1			8	*	*				
菊池保健所	112		4	5	103	19		1	3		1	12						
阿蘇保健所	9				5	3						1	*	*				
御船保健所	22				9	2						2	*	*				
八代保健所	84	2	2	5	44	18		1	2			6						
水俣保健所	23			1	8	4			1				*	*				
人吉保健所	122			1	47	11			1			5	*	*				
有明保健所	24			5	55	13		9	2			6						
宇城保健所	70	1		10	55			3	2			15						
天草保健所	24	2		4	81	3			4		4	1						
計	703	8	12	60	662	126	1	23	28	0	5	90	0	9	0	1	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	703	2	4	24	18	44	59	64	63	52	64	50	130	16	43	40	17	5	4	2	2	
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	8	4	1	2						1												
咽頭結膜熱	12			3	4	3	2															
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	60		2	6	8	7	11	5	5	7	4	4			1							
感染性胃腸炎	662	10	64	157	96	65	49	40	29	36	20	12	40	5	39							
水痘	126	2	7	28	32	16	21	13	3	1	1	1	1									
手足口病	1			1																		
伝染性紅斑	23	1		3		2	1	4	5	1	1	4	1									
突発性発しん	28		10	15	2	1																
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	5			2	2	1																
流行性耳下腺炎	90			7	9	14	17	13	15	2	6	1	4		2							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	9													1	2	2	1	2			1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1			1																		
マイコプラズマ肺炎	2	1		1																		
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 八代
- 流行性耳下腺炎 : 宇城
- 感染性胃腸炎 : 山鹿・菊池・人吉・宇城・天草
- 伝染性紅斑 : 宇城

流行性
耳下腺炎
(おたふくかぜ)

年間を通じて発生しますが、昨年後半から例年より高い水準で推移しており、今週は先週と比べて減少したものの、宇城、山鹿、菊池地域で多く報告されています。感染すると2～3週間の潜伏期間を経て、片側あるいは両側の唾腺(耳の下あたり)の腫れ、痛み、発熱を主な症状として発病します。通常1～2週間で軽快しますが、合併症を引き起こす場合もあります。患者のせきやくしゃみなどからの飛沫により感染します。手洗い・うがいの励行や患者との接触を控える等予防に努めてください。

インフルエンザ



今週のインフルエンザ報告数は、先週よりやや増加しました。特に阿蘇、人吉、宇城の3地域では、2週連続で報告数が増加しています。菊池、人吉、宇城地域が注意レベル、八代地域は未だ警戒レベルにあります。なお、迅速キットによる診断情報は、686件中、A型127件、B型553件、型不明6件でした。今後も発生状況に注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケットを守る等、感染防止に努めましょう。

